

コデアルiOSアプリ勉強会

- Programming 24 -

nakasen\_20th

# 目指すところ

- ・ プログラマになる
- ・ TwitterクライアントiOSアプリを作る

# iOSアプリを作れるようになる

1. iOSアプリの構成を知る
2. 開発環境Xcodeを知る
3. Objective-Cの基礎を知る
4. UIKitを知る

# Twitterアプリを作る

5. Twitter APIを知る
6. ググり方を知る（超重要）
7. 並列処理の方法を知る

# プログラマになる

8. 作品を作りこむ

9. GitHubに公開する

10. ライトニングトークで自分を売り込む（発表）

# 1. iOSアプリの構成を知る

## iOS機器

- ・ iPhone
- ・ iPad    iPad mini
- ・ iPod Touch

# iOSのバージョン

- ・ iOS7とそれ以前

<http://www.idownloadblog.com/2013/06/14/ios-6-vs-ios-7-the-different-ui-views/>

(見た目の大きな変化)

- ・ 今回はiOS7に限定

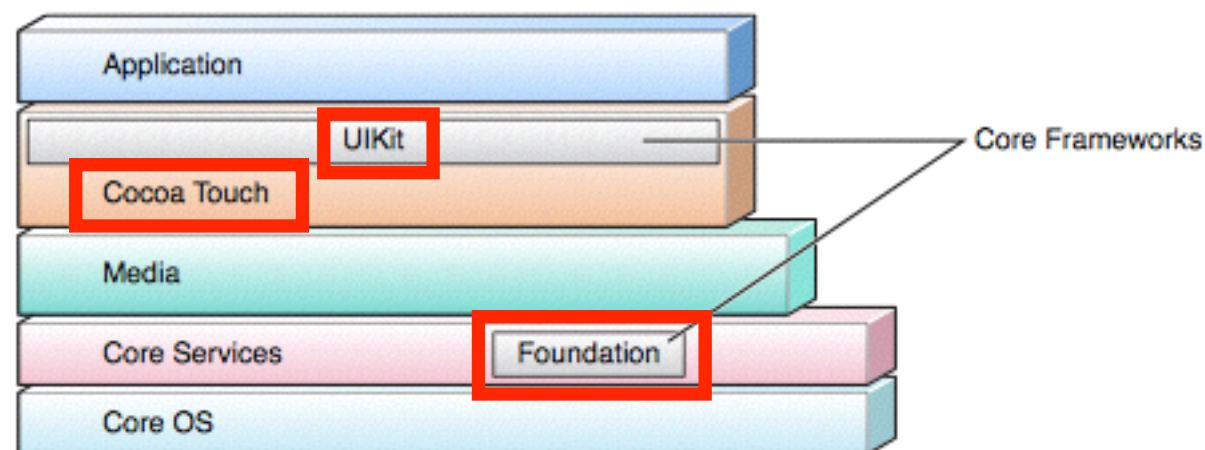
- ▶ iOS7動作機種

- ・ iPhone4以降
- ・ iPad 2以降、iPad mini全て
- ・ iPod Touch 第5世代以降

# フレームワーク

- <https://developer.apple.com/legacy/library/documentation/Cocoa/Conceptual/CocoaFundamentals/CocoaFundamentals.pdf>

Figure 1-2 Cocoa in the architecture of iOS





## 2. 開発環境Xcodeを知る

- ・ Apple社純正統合開発環境
- ・ バージョンは最新（5.1）に（20140401現在）
- ・ 新規作成時は「Single View Application」で
- ・ 画面構成に早く慣れる

# Xcode画面構成

<http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1212/05/news022.html>

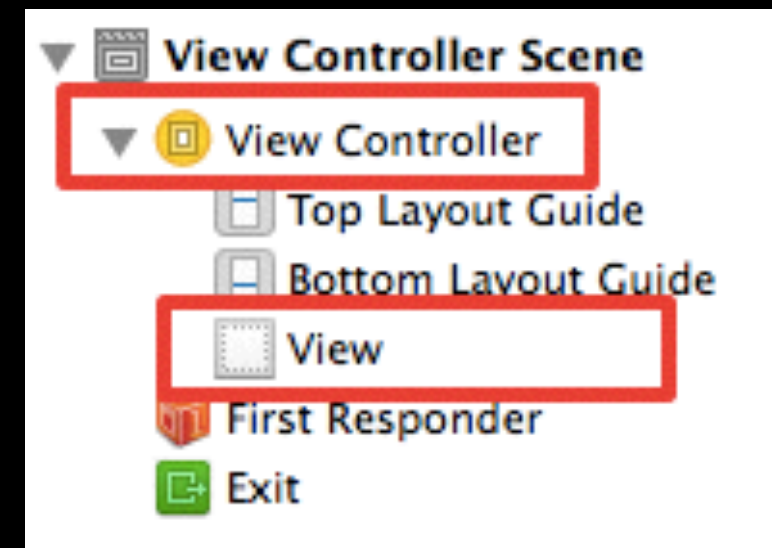
- ・ ツールバー
- ・ ナビゲーターエリア
- ・ エディタエリア
- ・ ユーティリティエリア
- ・ デバッグエリア

# ナビゲーターエリア

- ・ 重要なのは3つ
  - ★ Main.storyboard
  - ★ ViewController.h
  - ★ ViewController.m

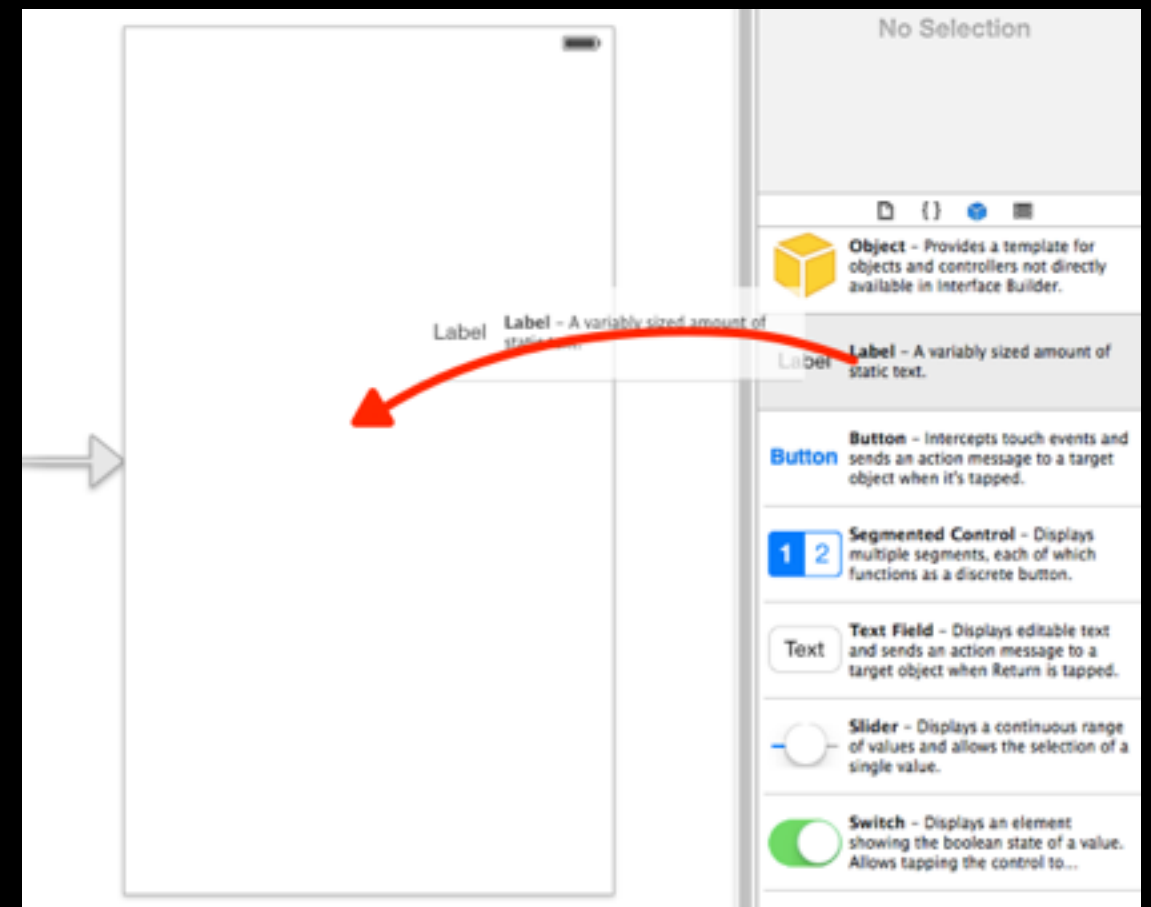
# Storyboard

- ・ エディタエリアの初期状態を確認
- ・ Document Outlineを表示
  - ★ View Controllerがひとつ
  - ★ その上にViewがひとつ



# Object library

- ・ UIパーツを確認
- ・ ドラッグでView上に配置
  - ★ Label
  - ★ Button
  - ★ View Controller



# セグエで連結

- ・ Buttonから次のView Controllerへ  
Control + ドラッグ
- ・ セグエの種類は「Push」
- ・ 最初のView ControllerにNavigation  
ControllerをEmbed In
- ・ もう一度Document Outlineを確認

# Navigation Controller

- ・ View Controllerの遷移を記録して管理
- ・ 画面上部のNavigation Barに戻るボタンを自動生成
- ・ Embed InしたView Controllerから記録開始

# Attributes inspector

- ・ Viewの属性を変えてみる
- ・ Labelのテキストを変えてみる
- ・ Buttonの種類を変えてみる
- ・ Segueの種類を変えてみる



# ビルド、実行

- ・ ここで実行してみる (iOSシミュレータの起動)
- ・ ハードウェアを選択
- ・ 画面の向きを変えてみる

# 演習課題 (Ex01)

- ・ アンケートアプリ作成（コードは書かない！）
- ・ 二者択一の画面遷移をセグエで実現
- ・ 最終結果は 4 画面
- ・ 題材は自由



# 3. Objective-Cの基礎を知る

- ・ C言語とオブジェクト指向要素のハイブリッド
- ・ オブジェクトとそうでないもの（プリミティブ）が混在
- ・ プリミティブと構文と関数でとりあえず動く

# 変数（プリミティブ）

- ・ 変数は値の入れ物
- ・ 型で分類
  - ★ int型（整数）
  - ★ float型（実数）
  - ★ BOOL型（1か0、YESかNO）  
他の言語と混乱した人向け →  
<http://d.hatena.ne.jp/thata/20091123/1258950667>
  - ★ その他（文字型はオブジェクトの時に）

# 構文 (if文)

- ・ if文は条件分岐

```
int age = 20; // この数値を変えてみる
if (age >= 20) {
    NSLog(@"成人"); // NSLog関数は後述
} else {
    NSLog(@"未成年");
}
```

# 構文 (for文)

- ・ for文は繰り返し

```
for (int i = 1; i <= 10; i++) { // 繰り返し条件
    NSLog(@"%d", i); // %dは整数を十進表示する書式
}
```

- ・ if、forともに条件式に注意

条件式で「等しい」は「==」 (比較演算子)

<http://www.objectivec-iphone.com/introduction/operator/logical-operator.html>

- ・ 構文は入れ子が可能 (ifの中にif、など)

# 構文 (switch文)

- switch文は条件分岐 (3分岐以上可)

```
int era = 1; // この数値を変えてみる
```

```
switch (era) {
```

```
    case 0:
```

```
        NSLog(@"昭和");
```

```
        break;
```

```
    case 1:
```

```
        NSLog(@"平成");
```

```
        break;
```

```
    default:
```

```
        NSLog(@"年号 error!"); // 大正生まれはどうする？
```

```
        break;
```

```
}
```

# 演習問題

- ・ 掛け算九九
- ・ NSLog関数で" $1 \times 1 = 1$ "、" $1 \times 2 = 2$ " . . .
- ・ for文の入れ子で短く書く



# 関数

- ・ 引数を与えて戻り値を得る
- ・ プログラミング言語では引数や戻り値がない場合がある  
→単なる処理の固まり
- ・  $f(x)=2x$  は

```
int twice(int value) {  
    return 2 * value;  
}
```
- ・ この関数を呼び出す時は

```
int x = 5;  
int answer = twice(x);
```

# 関数いろいろ

- ・ 戻り値がない場合
  - ★ 型はvoid
  - ★ returnがない
- ・ 引数がない場合
- ・ 引数が2つ以上の場合

```
void display2()
{
    NSLog(@"2 times.");
}

int always2()
{
    return 2;
}

int twice(int value) {
    return 2 * value;
}

int multiple(int value1, int value2)
{
    return value1 * value2;
}
```

# トピックス：名前

- ・ 名前決めるの大変！
  - ★ 変数名
  - ★ 関数名
  - ★ 仮引数名
- ・ これだけ書籍の何十ページ分
- ・ 困ったら一緒に悩みましょう

# 関数の呼び出し

- ・ それぞれの場合

```
display2(); // "2 times."  
  
int answer = always2(); // 2 -> answer  
  
int answerTwice = twice(100); // 200 -> answerTwice  
  
int answerMulti = multiple(5, 3); // 15 -> answerMulti
```

# 演習問題

- ・ 消費税込計算関数 `iTax()`
- ・ 引数100を与えれば戻り値108が得られる
- ・ 税率も引数に含めたい場合は、  
引数2つの関数を作成

# オブジェクト指向

- ・ クラス  
変数定義とメソッド定義の設計書
- ・ メソッド  
関数定義のオブジェクト指向版
- ・ インスタンスの生成  
クラス（設計書）を元に実体を生み出す  
実体は変数フィールドとメソッドを持つ

# クラスの書き方

- ・ @interface
  - ★ 変数フィールド名、メソッド名の宣言部
- ・ @implementation
  - ★ メソッド実装部
- ・ @interfaceは「.h」に書かれることが多い  
@implementationは「.m」に書かれることが多い
- ・ ViewController.hとViewController.mを見てみよう

# メソッドの書き方

- ・ 戻り値がない場合とある場合
- ・ 引数がない場合と1つの場合と2つ以上の場合
- ・ ラベル付き引数はやっかい

```
// メソッド定義
- (float)average:(int)score1 eScore:(int)score2 jScore:(int)score3
{
    return (float)(score1 + score2 + score3) / 3.0f;
}
```

- ・ メソッド呼び出しの書式が不思議

```
Score *score = [[Score alloc] init]; // インスタンス生成
[score setIdNumber:107]; // セッター呼び出し
float average3 = [score average:70 eScore:50 jScore:80]; // メソッド実行
NSLog(@"ID番号%dの学生の3科目の平均点は%.2f点です。", [score getIdNumber], average3); // ゲッター呼び出し
```



# インスタンスの生成方法

- ・ allocしてinitする
- ・ newする（上に同じ）
- ・ allocしてからinitの代わりにinitWith～を使う  
（指定イニシャライザ）
- ・ allocとinitWith～をまとめて行うメソッド  
（コンビニエンスコンストラクタ）を使う
- ・ その他（この後出てくるクラスはほとんどこれ）

# クラス宣言、実装、実行

- Scoreクラス（クラス名は英大文字から）

```
@interface Score : NSObject
{
    int idNumber;    // 今回は未使用
    int math;        // 今回は未使用
    int english;     // 今回は未使用
    int japanese;    // 今回は未使用
}

- (float)average:(int)score1 eScore:(int)score2 jScore:(int)score3;

@end

@implementation Score

- (float)average:(int)score1 eScore:(int)score2 jScore:(int)score3
{
    return (float)(score1 + score2 + score3) / 3;
}

@end
```

- 実行（インスタンスを生成してメソッド実行）

```
Score *score = [[Score alloc] init];
float average3 = [score average:80 eScore:90 jScore:70];
NSLog(@"3科目の平均点は%.2f点です。", average3);
```

# 変数へのアクセス

- ・ クラスで宣言した変数はクラス外から見えない
- ・ 値のセット、値の読み出しができるようにそれぞれメソッドを用意する

★ セッタ

★ ゲッタ

```
- (void)setIdNumber:(int)number
{
    idNumber = number;
}

- (int)getIdNumber
{
    return idNumber;
}
```

# 変数へのアクセス (2)

- 宣言部で@property指定をするとセッタ、ゲッタが自動生成される

```
@interface Score : NSObject
{
    // 以下の4項目は今回は未使用。セッタ、ゲッタを使ってアクセスできる。
    // int idNumber;
    int math;
    int english;
    int japanese;
}

@property (nonatomic) int idNumber;
```

- ドットシンタックスでアクセスできるので便利

```
Score *score = [[Score alloc] init]; // インスタンス生成

// [score setIdNumber:107]; // セッタ呼び出し
score.idNumber = 107; // ドットシンタックスでセット

float average3 = [score average:70 eScore:50 jScore:80]; // メソッド実行

// NSLog(@"ID番号%dの学生の3科目の平均点は%.2f点です", [score getIdNumber], average3); // ゲッタ呼び出し
NSLog(@"ID番号%dの学生の3科目の平均点は%.2f点です.", score.idNumber, average3); // ドットシンタックスでゲット
```

# 演習問題 (Ex02)

- ・ 電卓の消費税ボタンCalciTaxクラスを作成
  - ★ クラス税率taxフィールドを持つ
  - ★ taxに値をセットするsetTaxメソッド持つ
  - ★ taxの値を読み出すgetTaxメソッドを持つ
  - ★ 税込み計算を行うiTaxメソッドを持つ
- ・ インスタンスを生成し、計算を実行する

# Foundationフレームワーク

- ・ 基礎的なクラスをたくさん定義してある
  - ★ NSNumberクラス
  - ★ NSStringクラス
  - ★ NSArrayとNSMutableArrayクラス
  - ★ NSDictionaryとNSMutableDictionaryクラス
  - ★ その他たくさん

# NSNumberクラス

- ・ 数値オブジェクト（インスタンス化して用いる）
- ・ オブジェクトだがalloc initしなくても初期化できる
- ・ alloc initしても良い

```
NSNumber *myNumber1 = @1;

NSNumber *myNumber2 = [[NSNumber alloc] initWithInt:1]; // 指定イニシャライザ
NSNumber *myNumber3 = [NSNumber numberWithInt:1]; // コンビニエンスコンストラクタ

NSLog(@"%@, %@, %@", myNumber1, myNumber2, myNumber3);
```

# NSStringクラス

- ・ 文字列オブジェクト
- ・ オブジェクトだがalloc initしなくても初期化できる
- ・ alloc initすると怒られる

```
NSString *myName1 = @"Funassy";
```

```
▲ NSString *myName2 = [[NSString alloc] initWithString:@"Funassy"]; ▲ Using 'initWithString:' with a literal is redundant
```

```
▲ NSString *myName3 = [NSString stringWithString:@"Funassy"]; ▲ Using 'stringWithString:' with a literal is redundant
```

```
NSLog(@"%@, %@, %@", myName1, myName2, myName3);
```



# NSArrayクラス

## (NSMutableArrayクラス)

- ・ 配列オブジェクト（複数の要素を持つ）
- ・ 要素はオブジェクトならなんでも良い
- ・ オブジェクトだがalloc initしなくても初期化できる
- ・ alloc initしても良い

```
NSArray *rgbArray1 = @[@"Red", @"Green", @"Blue"];  
  
NSArray *rgbArray2 = [[NSArray alloc] initWithObjects:@"Red", @"Green", @"Blue", nil];  
NSArray *rgbArray3 = [NSArray arrayWithObjects:@"Red", @"Green", @"Blue", nil];  
  
NSLog(@"%@, %@, %@", rgbArray1[0], rgbArray2[1], rgbArray3[2]);
```

- ・ NSMutableArrayオブジェクトは要素の変更、追加、削除が可  
（NSArrayはそれらが不可、ということ）

# NSDictionaryクラス

## (NSMutableDictionaryクラス)

- ・辞書オブジェクト（キーと値のセット）
- ・要素はオブジェクトならなんでも良い
- ・オブジェクトだがalloc initしなくても初期化できる
- ・alloc initしても良い

```
NSDictionary *personDict1 = @{@"name":@"Funassy", @"age":@39};

NSDictionary *personDict2 = [[NSDictionary alloc] initWithObjectsAndKeys:
    @"Funassy", @"name", [NSNumber numberWithInt:39], @"age", nil];
NSDictionary *personDict3 = [NSDictionary dictionaryWithObjectsAndKeys:
    @"Funassy", @"name", [NSNumber numberWithInt:39], @"age", nil];

NSLog(@"%@, %@, %@", personDict1[@"name"], personDict2[@"age"], personDict3[@"age"]);
```

- ・NSMutableDictionaryオブジェクトは要素の変更、追加、削除可  
(NSDictionaryはそれらが不可、ということ)

# コレクションクラス

- ・ 複数の要素を持てるオブジェクトをコレクションと言う
  - ★ NSArray
  - ★ NSMutableArray
  - ★ NSDictionary
  - ★ NSMutableDictionary
  - ★ その他
- ・ for文との相性が良い @ITの記事がわかりやすい  
[http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0901/21/news126\\_2.html](http://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/0901/21/news126_2.html)
- ・ 特定要素の取り出し、要素の操作、追加削除変更など、メソッドを把握しておく

# 演習問題 (Ex03)

- ・ 成績表を一覧表示するReportクラスを作成
  - ★ 学籍番号、氏名、成績フィールド
  - ★ 平均点を求めるメソッド
  - ★ セッターメソッド、ゲッターメソッド
- ・ 成績フィールドはNSDictionaryで持つ
  - ★ 数学、英語、国語キーの値を持つ

# 4. UIKitを知る

- ・ UI（ユーザインターフェース）の役割
  - ★ 情報の伝達
  - ★ ユーザの誘導
  - ★ 総合的なユーザ体験
- ・ UIで迷ったらAppleのドキュメントに立ち返る  
「iOSヒューマンインターフェースガイドライン」  
[https://developer.apple.com/jp/devcenter/ios/library/documentation/userexperience/conceptual/mobilehig/BasicPart/BasicPart.html#//apple\\_ref/doc/uid/TP40006556-CH2-SW1](https://developer.apple.com/jp/devcenter/ios/library/documentation/userexperience/conceptual/mobilehig/BasicPart/BasicPart.html#//apple_ref/doc/uid/TP40006556-CH2-SW1)

# StoryboardでUI構築

- ・ UI構築作業をStoryboardに任せる
- ・ もう一度Object libraryでUIパーツを確認
- ・ もう一度Attributes inspectorの項目を確認

# ViewControllerグループ

- ・ UINavigationController クラス
- ・ UINavigationController クラス
- ・ UITableViewController クラス
- ・ その他

# Viewグループ

- ・ UILabelクラス
- ・ UIViewクラス
- ・ UIImageViewクラス
- ・ UITextViewクラス
- ・ その他



# Controlグループ

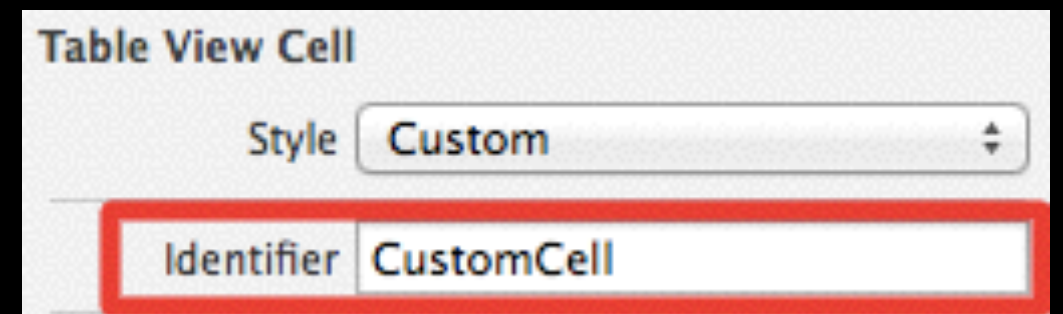
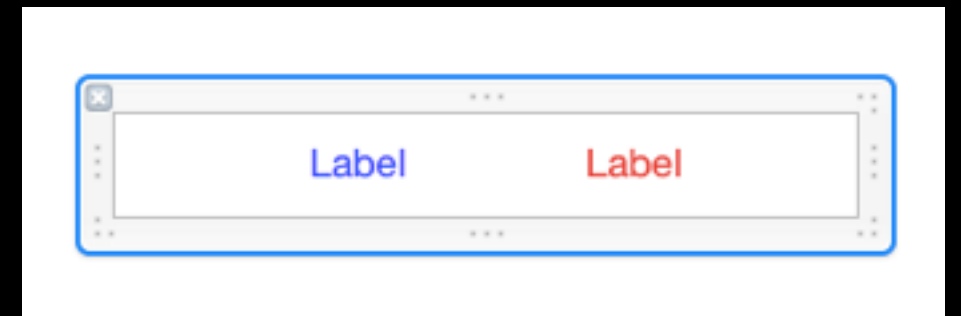
- ・ UIButtonクラス
- ・ UISegmentedControlクラス
- ・ UITextViewクラス
- ・ その他

# その他グループ

- ・ UITableViewCellクラス
- ・ UIGestureRecognizerクラス
- ・ その他

# UIパーツをStoryboardで生成

- ・ xibファイルを作成してセルをカスタマイズ
  - ★ UITableViewCellクラスのサブクラスを作成
  - ★ xibファイルを同時に作成
  - ★ xibファイルをGUIでカスタマイズ
  - ★ Identifierを合わせる



# UIパーツをコードのみで作成

- ラベルやボタンをStoryboardを使わず作成

```
- (void)viewDidLoad
{
    [super viewDidLoad];
    // Do any additional setup after loading the view, typically from a nib.
    self.view.backgroundColor = [UIColor lightGrayColor]; // Viewの背景色を変更

    UILabel *myLabel1 = [[UILabel alloc] initWithFrame:CGRectMake(60, 50, 200, 100)];
    // 指定イニシャライザで初期化
    myLabel1.backgroundColor = [UIColor blueColor]; // Labelの背景色を変更
    myLabel1.textColor = [UIColor yellowColor]; // Labelの文字色を変更
    myLabel1.textAlignment = NSTextAlignmentCenter; // 中央揃え
    myLabel1.text = @"ラベル1"; // Labelタイトル
    [self.view addSubview:myLabel1]; // LabelをViewに貼り付け

    UIButton *myButton1 = [UIButton buttonWithType:UIButtonTypeCustom];
    // コンビニエンスコンストラクタで初期化
    myButton1.frame = CGRectMake(60, 200, 200, 100);
    myButton1.backgroundColor = [UIColor redColor]; // Buttonの背景色を変更
    [myButton1 setTitle:@"ボタン1" forState:UIControlStateNormal]; // 通常時のButtonタイトル
    [myButton1 addTarget:self
                     action:@selector(buttonAction:)
                     forControlEvents:UIControlEventTouchUpInside]; // ボタンを押した時の処理 (メソッドの実行)
    [self.view addSubview:myButton1]; // ButtonをViewに貼り付け
}
```

# UITextFieldをコードのみで作成

- 文字入力を受け付けるサンプルソース

```
- (void)viewDidLoad
{
    [super viewDidLoad];
    // Do any additional setup after loading the view, typically from a nib.

    self.view.backgroundColor = [UIColor lightGrayColor];
    UITextField *textField = [[UITextField alloc] initWithFrame:CGRectMake(60, 50, 200, 30)];
    textField.borderStyle = UITextBorderStyleRoundedRect;
    textField.placeholder = @"年齢を入力して下さい。";
    textField.keyboardType = UIKeyboardTypeNumbersAndPunctuation;
    textField.returnKeyType = UIReturnKeyDone;
    [textField addTarget:self
                    action:@selector(displayMessage:)
          forControlEvents:UIControlEventEditingDidEndOnExit];
    [self.view addSubview:textField];

    _messageLabel = [[UILabel alloc] initWithFrame:CGRectMake(20, 100, 280, 50)];
    _messageLabel.textColor = [UIColor redColor];
    _messageLabel.textAlignment = NSTextAlignmentCenter;
    [self.view addSubview:_messageLabel];
}

- (void)displayMessage:(UITextField *)inputTextField {
    int inputNumber = [inputTextField.text intValue];
    int answerAge = inputNumber + 5;
    _messageLabel.text = [NSString stringWithFormat:@"あなたの本当の年齢は%d才ですね。", answerAge];
}
```

# UIKit重点項目

- ・ UINavigationControllerクラス
  - ★ ライフサイクル
  - ★ Navigation Controllerによる管理  
遷移してきた画面（ViewController）を配列で記憶  
pushで追加、popで取り出し（戻る）
- ・ UITableViewControllerクラス
  - ★ 構成要素
  - ★ 代表的なメソッド
  - ★ セルの生成方法

# UIViewController

- ・ 各メソッドの呼び出されるタイミング

<http://d.hatena.ne.jp/glass-onion/20120405/1333611664>

など、良記事がたくさん

- ★ viewDidLoad
- ★ viewWillAppear:
- ★ viewWillDisappear:
- ★ prepareForSegue::
- ★ didReceiveMemoryWarning

# UITableViewController

- ・ 各メソッドの機能

<http://blogios.stack3.net/archives/604>

(UITableViewの解説) など、良記事あり

- ★ セクション数を返すメソッド
- ★ 各セクションのセル数を返すメソッド
- ★ 各セル表示の際に呼び出されるメソッド
- ★ 各セルの高さを決定するメソッド
- ★ 各セルのクリック時に呼び出されるメソッド  
など



# UITableViewController

- 各メソッドのソースコード例

```
- (NSInteger)numberOfSectionsInTableView:(UITableView *)tableView
{
    return 1; // セクション数
}

- (NSInteger)tableView:(UITableView *)tableView numberOfRowsInSection:(NSInteger)section
{
    return 10; // セクション内の行数
}

- (UITableViewCell *)tableView:(UITableView *)tableView cellForRowAtIndexPath:(NSIndexPath *)indexPath // セルの定義
{
    UITableViewCell *cell = [tableView dequeueReusableCellWithIdentifier:@"Cell" forIndexPath:indexPath]; // 再利用

    // Configure the cell...
    cell.textLabel.text = [NSString stringWithFormat:@"%d", indexPath.row]; // 行番号を表示
    return cell;
}

- (CGFloat)tableView:(UITableView *)tableView heightForRowAtIndexPath:(NSIndexPath *)indexPath // セルの高さ
{
    return indexPath.row % 2 * 30 + 30; // 1行おきにセルの高さを変更
}

- (void)tableView:(UITableView *)tableView didSelectRowAtIndexPath:(NSIndexPath *)indexPath // セルクリック時
{
    NSLog(@"row = %d", indexPath.row); // 行番号をログ出力
}
```

# 5. Twitter APIを知る

- ・ Twitterでできること
  - ★ タイムラインを表示する
  - ★ つぶやく
  - ★ リツイート、リプライ、お気に入り、その他

# 今回の作成目標アプリ

- ・ アカウントの選択
- ・ ホームタイムラインの表示
- ・ ツイート画面からツイート
- ・ リツイートボタン、お気に入りボタン
- ・ その他（オリジナルツイート画面等）

# APIの利用

- ・ APIの役割
  - ★ 外部にプログラムの機能を開放し、アプリケーション開発の負担を緩和する
- ・ Twitter APIの役割
  - ★ サードパーティのTwitterアプリ作成の手間を減らす

# Twitter APIの利用方法

- ・ Twitter Developers “REST API v1.1 Resources”  
<https://dev.twitter.com/docs/api/1.1>
- ・ リソースURLを指定してHTTP(S)でアクセス
- ・ リソースURLとレスポンス例が掲載
- ・ 用語に慣れが必要  
(「つぶやく」 = statuses update など)

# Twitter API

- ・ 情報の要求はGETメソッド
- ・ 情報の送信はPOSTメソッド
- ・ レスポンスはJSONデータ
  - ★ JSONデータをよく見て慣れておく
  - ★ JSONデータはiOS側でNSDictionaryに変換  
「キー：値」のペア、入れ子構造など共通

# JSONデータの扱い

- ・ iOSアプリ側でNSDictionaryに変換
- ・ NSJSONSerializationクラスのメソッドを利用

```
NSArray *timeLineData =  
[NSJSONSerialization JSONObjectWithData:responseData // JSONデータ(NSData)  
options:NSJSONReadingAllowFragments  
error:&jsonError];
```

- ・ 並列処理で（後述）
- ・ エラーを考慮

# アプリからHTTPアクセス

- ・ SLRequestクラスのメソッドを利用
- ・ リソースURLを指定してアクセス

```
NSURL *url = [NSURL URLWithString:@"https://api.twitter.com"
                                @"/1.1/statuses/home_timeline.json"];
NSDictionary *params = @{@"count" : @"100",
                        @"trim_user" : @"0",
                        @"include_entities" : @"0"};
SLRequest *request = [SLRequest requestForServiceType:SLServiceTypeTwitter
                                requestMethod:SLRequestMethodGET
                                URL:url
                                parameters:params];
[request performRequestWithHandler:^(NSData *responseData,
                                NSHTTPURLResponse *urlResponse,
                                NSError *error) {

    if (responseData) {
        self.httpErrorMessage = nil;
        if (urlResponse.statusCode >= 200 && urlResponse.statusCode < 300) {
```

- ・ 並列処理で
- ・ エラーを考慮



# 並列処理

- ・ Webへのアクセスは重い処理  
ユーザの操作を妨げてはならない
- ・ 重い処理は裏で並列処理
- ・ Objective-CのGCDを利用（非同期処理）

# GCD

- ・ 処理単位をキューで管理
- ・ メインキューとグローバルキュー
- ・ GUI処理は必ずメインキューで
- ・ 重い処理をグローバルキューへ

# dispatch\_async()関数

- ・ 一般的な書式

```
dispatch_async(グローバルキューの取得, ^{  
    重い処理「A」  
    dispatch_async(メインキューの取得, ^{  
        重い処理完了後の処理「B」  
    });  
});  
重い処理の完了を待たずに実行する処理「C」
```

- ・ 処理「A」と処理「C」は並行して実行される。
- ・ 処理「A」が終了した時に処理「C」が重い処理をしている場合は、メインキューの取得待ちになる。

# dispatch\_async()サンプル

- サンプルソース

```
- (IBAction)timeConsumingTask:(id)sender {
    dispatch_queue_t mainqueue = dispatch_get_main_queue();
    dispatch_queue_t globalQueueDefault =
    dispatch_get_global_queue(DISPATCH_QUEUE_PRIORITY_DEFAULT, 0);

    dispatch_async(globalQueueDefault, ^{
        for (int i = 0; i < 10000; i++) {
            for (int j = 0; j < 100000; j++) {

            }
        }
        dispatch_async(mainqueue, ^{
            self.messageLabel.text = @"Finish!";
        });
    });
    self.messageLabel.text = @"Wait...";
}
```

# Twitter APIにおける並列処理

- ・ SLRequestやNSJSONSerializationクラスのメソッドではブロックを利用（ ^{ 処理 } ）
- ・ ブロック内の処理は並列で実行終了後GUI処理をする場合はメインキューを取得する必要あり

# Twitter APIのレスポンス

- ・ HTTPのステータスコードを調べる
  - ★ 200番台が成功
  - ★ 400番台はクライアントエラー
  - ★ 500番台はサーバエラー
- ・ エラーの種類によってアプリのメッセージを変えるべき

# ツイート画面

- SLComposeViewControllerを利用

```
if ([SLComposeViewController isAvailableForServiceType:SLServiceTypeTwitter]) { //利用可能チェック
    NSString *serviceType = SLServiceTypeTwitter;
    SLComposeViewController *composeCtl = [SLComposeViewController
        composeViewControllerForServiceType:serviceType];
    [composeCtl setCompletionHandler:^(SLComposeViewControllerResult result) {
        if (result == SLComposeViewControllerResultDone) {
            //投稿成功時の処理
        }
    }];
    [self presentViewController:composeCtl animated:YES completion:NULL];
}
```

- オリジナルツイートシートにするなら  
UITextViewを含むViewControllerを用意する

# 認証処理

- ・ Twitterアカウント処理が必要
- ・ 複数のアカウントがある場合は  
アクションシートで選択
- ・ 認証が成功したらidentifierを持ち回る



# ACAccount

- ・ 複数のアカウントから選択

```
self.accountStore = [[ACAccountStore alloc] init];
ACAccountType *twitterType =
[self.accountStore accountTypeWithIdentifier:ACAccountTypeIdentifierTwitter];
[self.accountStore requestAccessToAccountsWithType:twitterType
                                options:NULL
                                completion:^(BOOL granted, NSError *error) {
    if (granted) {
        self.twitterAccounts = [self.accountStore accountsWithType:twitterType];
        if (self.twitterAccounts.count > 0) {
            ACAccount *account = self.twitterAccounts[0];
            self.identifier = account.identifier;
            dispatch_async(dispatch_get_main_queue(), ^{
                self.accountDisplayLabel.text = account.username;
            });
        } else {
            dispatch_async(dispatch_get_main_queue(), ^{
                self.accountDisplayLabel.text = @"アカウントなし";
            });
        }
    } else {
        NSLog(@"Account Error: %@", [error localizedDescription]);
        dispatch_async(dispatch_get_main_queue(), ^{
            self.accountDisplayLabel.text = @"アカウント認証エラー";
        });
    }
}];
```

# アクションシートから選択

- ・ UIAlertControllerから一つを選択するコード

```
- (IBAction)setAccountAction:(id)sender
{
    UIAlertController *sheet = [[UIAlertSheet alloc] init];
    sheet.delegate = self;

    sheet.title = @"選択してください。";
    for (ACAccount *account in self.twitterAccounts) {
        [sheet addButtonWithTitle:account.username];
    }
    [sheet addButtonWithTitle:@"キャンセル"];
    sheet.cancelButtonIndex = self.twitterAccounts.count;
    sheet.actionSheetStyle = UIAlertControllerStyleBlackTranslucent;
    [sheet showInView:self.view];
}

- (void)actionSheet:(UIAlertSheet *)actionSheet clickedButtonAtIndex:(NSInteger)buttonIndex
{
    if (self.twitterAccounts.count > 0) {
        if (buttonIndex != self.twitterAccounts.count) {
            ACAccount *account = self.twitterAccounts[buttonIndex];
            self.identifier = account.identifier;
            self.accountDisplayLabel.text = account.username;
            NSLog(@"Account set! %@", account.username);
        }
        else {
            NSLog(@"cancel!");
        }
    }
}
```

# タイムライン表示

- ・ タイムライン用ViewControllerにアカウント情報を引き継ぐ

```
- (void)prepareForSegue:(UIStoryboardSegue *)segue sender:(id)sender
{
    if ([segue.identifier isEqualToString:@"TimeLineSegue"]) {
        TimeLineTableViewController *timeLineTableViewController = segue.destinationViewController;
        if ([timeLineTableViewController isKindOfClass:[TimeLineTableViewController class]]) {
            timeLineTableViewController.identifier = self.identifier;
        }
    }
}
```

# カスタムセル

- UITableViewCellのサブクラスを作成し、initWithStyle::でUIパーツを配置してカスタマイズ

```
- (id)initWithStyle:(UITableViewCellStyle)style reuseIdentifier:(NSString *)reuseIdentifier
{
    self = [super initWithStyle:style reuseIdentifier:reuseIdentifier];
    if (self) {
        // Initialization code
        _paddingTop = 5;
        _paddingBottom = 5;

        _tweetTextLabel = [[UILabel alloc] initWithFrame:CGRectZero];
        _tweetTextLabel.font = [UIFont systemFontOfSize:14.0f];
        _tweetTextLabel.textColor = [UIColor blackColor];
        _tweetTextLabel.numberOfLines = 0;
        [self.contentView addSubview:_tweetTextLabel];

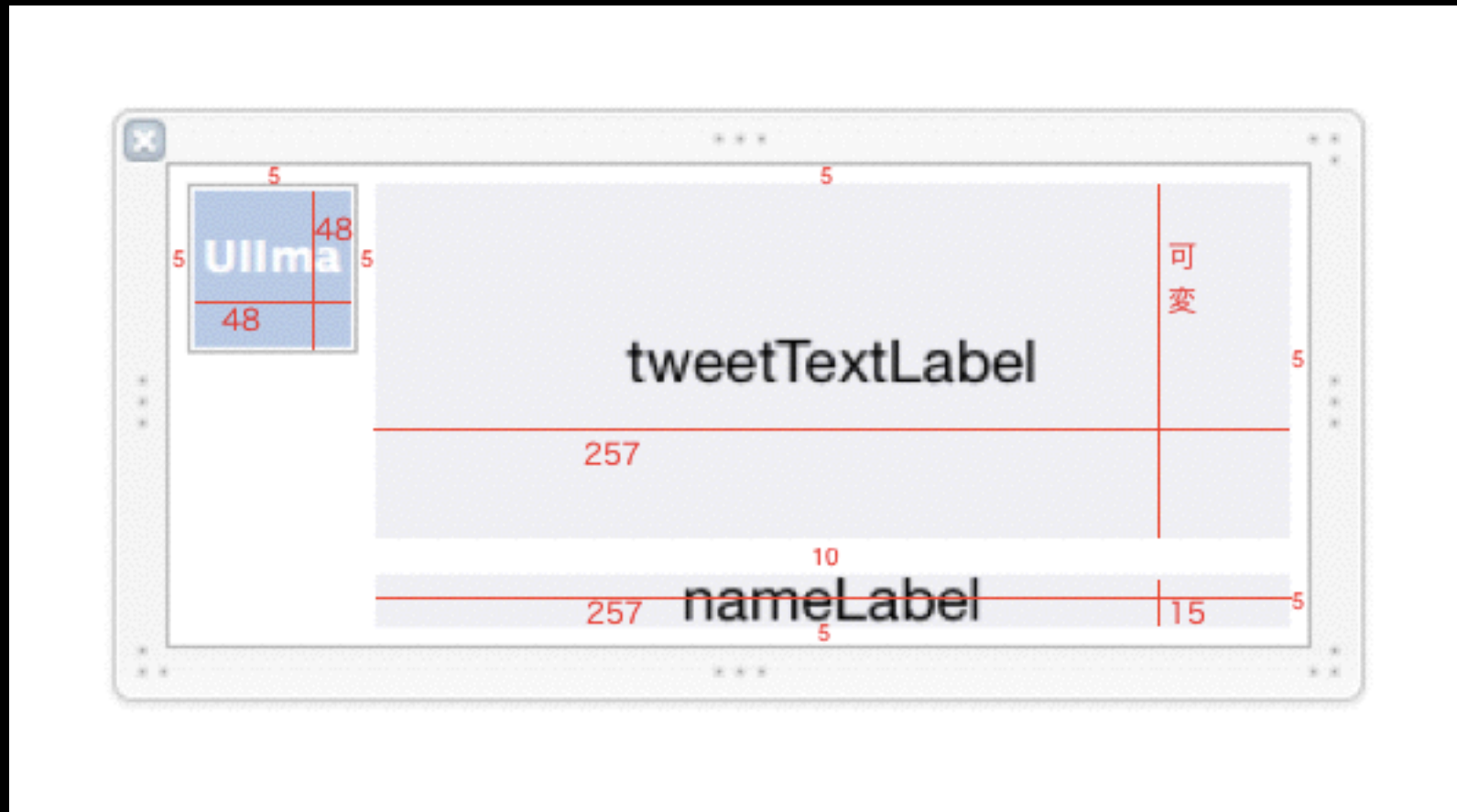
        _nameLabel = [[UILabel alloc] initWithFrame:CGRectZero];
        _nameLabel.font = [UIFont systemFontOfSize:12.0f];
        _nameLabel.textColor = [UIColor blackColor];
        [self.contentView addSubview:_nameLabel];

        _profileImageView = [[UIImageView alloc] initWithFrame:CGRectZero];
        _profileImageView.image = _image;
        [self.contentView addSubview:_profileImageView];
    }
    return self;
}
```



# カスタムセル続き

- ・ カスタムセルの設計



- ・ layoutSubviews

```
- (void)layoutSubviews
{
    [super layoutSubviews];

    self.profileImageView.frame = CGRectMake(5, self.paddingTop, 48, 48);
    self.tweetTextLabel.frame = CGRectMake(58, self.paddingTop, 257, self.tweetTextLabelHeight);
    self.nameLabel.frame = CGRectMake(58, self.paddingTop + self.tweetTextLabelHeight + 10, 257, 15);
}
```

# TimeLineTableViewController

- ・ viewDidLoadでアカウント引き継ぎ  
及び初期設定

```
[super viewDidLoad];

[self.tableView registerClass:[TimeLineCell class] forCellReuseIdentifier:@"TimeLineCell"];

self.mainQueue = dispatch_get_main_queue();
self.imageQueue = dispatch_get_global_queue(DISPATCH_QUEUE_PRIORITY_BACKGROUND, 0);

ACAccountStore *accountStore = [[ACAccountStore alloc] init];
ACAccount *account = [accountStore accountWithIdentifier:self.identifier];

NSURL *url = [NSURL URLWithString:@"https://api.twitter.com"
                                @"/1.1/statuses/home_timeline.json"];
NSDictionary *params = @{@"count" : @"100",
                        @"trim_user" : @"0",
                        @"include_entities" : @"0"};
SLRequest *request = [SLRequest requestForServiceType:SLServiceTypeTwitter
                                requestMethod:SLRequestMethodGET
                                URL:url
                                parameters:params];

[request setAccount:account];
```

# TimeLineTableViewController

- さらにviewDidLoadでタイムラインを取得

```
UIApplication *application = [UIApplication sharedApplication];
application.networkActivityIndicatorVisible = YES;

[request performRequestWithHandler:^(NSData *responseData,
                                   NSHTTPURLResponse *urlResponse,
                                   NSError *error) {

    if (responseData) {
        self.httpErrorMessage = nil;
        if (urlResponse.statusCode >= 200 && urlResponse.statusCode < 300) {
            NSError *jsonError;
            self.timeLineData =
                [NSJSONSerialization JSONObjectWithData:responseData
                                                  options:NSJSONReadingAllowFragments
                                                  error:&jsonError];

            if (self.timeLineData) {
                NSLog(@"Timeline Response: %@", self.timeLineData);
                dispatch_async(self.mainQueue, ^{
                    [self.tableView reloadData];
                });
            } else {
                NSLog(@"JSON Error: %@", [jsonError localizedDescription]);
            }
        } else {
            self.httpErrorMessage =
                [NSString stringWithFormat:@"The response status code is %d",
                urlResponse.statusCode];
            NSLog(@"HTTP Error: %@", self.httpErrorMessage);
        }
    }

    dispatch_async(self.mainQueue, ^{
        UIApplication *application = [UIApplication sharedApplication];
        application.networkActivityIndicatorVisible = NO;
    });
}];
```

# TimeLineTableViewController

- ・ ツイート本文ラベルの高さを返すメソッドを用意

```
- (CGFloat)labelHeight:(NSString *)labelText
{
    // ラベルの行間設定
    UILabel *aLabel = [[UILabel alloc] init];
    CGFloat lineHeight = 18.0;
    NSMutableParagraphStyle *paragrahStyle = [[NSMutableParagraphStyle alloc] init];
    paragrahStyle.minimumLineHeight = lineHeight;
    paragrahStyle.maximumLineHeight = lineHeight;

    // テキスト属性を付与
    NSString *text = (labelText == nil) ? @"" : labelText;
    UIFont *font = [UIFont fontWithName:@"HiraKakuProN-W3" size:14];
    NSDictionary *attributes = @{NSParagraphStyleAttributeName: paragrahStyle,
                                NSFontAttributeName: font};
    NSAttributedString *aText = [[NSAttributedString alloc] initWithString:text attributes:attributes];
    aLabel.attributedText = aText;

    // ラベルの高さ計算
    CGFloat aHeight =
        [aLabel.attributedText boundingRectWithSize:CGSizeMake(257, MAXFLOAT)
                                         options:NSStringDrawingUsesLineFragmentOrigin
                                         context:nil].size.height;

    return aHeight;
}
```



# TimeLineTableViewController

- ・ セクション数は1、  
セル数はレスポンス取得前後で変化

```
- (NSInteger)numberOfSectionsInTableView:(UITableView *)tableView
{
    // Return the number of sections.
    return 1;
}

- (NSInteger)tableView:(UITableView *)tableView numberOfRowsInSection:(NSInteger)section
{
    // Return the number of rows in the section.
    if (!self.timeLineData) {
        return 1;
    } else {
        return self.timeLineData.count;
    }
}
```

# セルの定義

- cellForRowAtIndexPath その1

```
- (UITableViewCell *)tableView:(UITableView *)tableView
    cellForRowAtIndexPath:(NSIndexPath *)indexPath
{
    TimeLineCell *cell = [tableView dequeueReusableCellWithIdentifier:@"TimeLineCell"
                                                                forIndexPath:indexPath];

    // Configure the cell...

    if (self.httpErrorMessage) {
        cell.tweetTextLabel.text = self.httpErrorMessage;
        cell.tweetTextLabelHeight = 24;
    } else if (!self.timeLineData) {
        cell.tweetTextLabel.text = @"Loading...";
        cell.tweetTextLabelHeight = 24;
    } else {
        NSString *name = self.timeLineData[indexPath.row][@"user"][@"screen_name"];
        NSString *text = self.timeLineData[indexPath.row][@"text"];
```

# セルの定義

- cellForRowAtIndexPath その2

```
// カスタムセルを使わない場合は以下の4行
// cell.textLabel.font = [UIFont systemFontOfSize:14];
// cell.textLabel.numberOfLines = 0;
// cell.detailTextLabel.font = [UIFont systemFontOfSize:12];
// cell.detailTextLabel.text = name;

cell.tweetTextLabelHeight = [self labelHeight:text];
cell.tweetTextLabel.text = text;
cell.nameLabel.text = name;

cell.profileImageView.image = [UIImage imageNamed:@"blank.png"];
```

# セルの定義

- cellForRowAtIndexPath その3

```
dispatch_async(self.imageQueue, ^{
    NSString *url;
    NSDictionary *tweetDictionary = self.timeLineData[indexPath.row];

    if ([[tweetDictionary allKeys] containsObject:@"retweeted_status"]) {
        // リツイートの場合はretweeted_statusキー項目が存在する
        url = tweetDictionary[@"retweeted_status"][@"user"][@"profile_image_url"];
    } else {
        url = tweetDictionary[@"user"][@"profile_image_url"];
    }

    NSData *data = [NSData dataWithContentsOfURL:[NSURL URLWithString:url]];
    dispatch_async(self.mainQueue, ^{
        UIApplication *application = [UIApplication sharedApplication];
        application.networkActivityIndicatorVisible = NO;
        UIImage *image = [[UIImage alloc] initWithData:data];
        cell.profileImageView.image = image;
        [cell setNeedsLayout];
    });
});
return cell;
```

# セルの高さの定義

- heightForRowAtIndexPath

```
- (CGFloat)tableView:(UITableView *)tableView heightForRowAtIndexPath:(NSIndexPath *)indexPath
{
    NSString *tweetText = self.timeLineData[indexPath.row][@"text"];
    CGFloat tweetTextLabelHeight = [self labelHeight:tweetText];
    return tweetTextLabelHeight + 35;
}
```



# セル選択で詳細表示へ

- didSelectRowAtIndexPath

```
- (void)tableView:(UITableView *)tableView didSelectRowAtIndexPath:(NSIndexPath *)indexPath
{
    // Navigation logic may go here. Create and push another view controller.
    TimeLineCell *cell = (TimeLineCell *)[tableView cellForRowAtIndexPath:indexPath];

    DetailViewController *detailViewController = [self.storyboard
        instantiateViewControllerWithIdentifier:@"DetailViewController"];
    detailViewController.name = cell.nameLabel.text;
    detailViewController.text = cell.tweetTextLabel.text;
    detailViewController.image = cell.profileImageView.image;
    detailViewController.identifier = self.identifier;
    detailViewController.idStr = [[self.timeLineData objectAtIndex:indexPath.row]
        objectForKey:@"id_str"];

    // ...
    // Pass the selected object to the new view controller.
    [self.navigationController pushViewController:detailViewController animated:YES];
}
```

# リツイート、お気に入りなど

- ・ 詳細画面 (DetailViewController) に  
リツイートボタン設置 (前半)

```
- (void)viewDidLoad
{
    [super viewDidLoad];
    // Do any additional setup after loading the view.

    self.imageView.image = self.image;
    self.nameView.text = self.name;
    self.textView.text = self.text;
}
```

```
- (IBAction)retweetAction:(id)sender {
    ACAccountStore *accountStore = [[ACAccountStore alloc] init];
    ACAccount *account = [accountStore accountWithIdentifier:self.identifier];

    NSString *urlString = [NSString stringWithFormat:
        @"https://api.twitter.com/1.1/statuses/retweet/%@.json", self.idStr];
    NSURL *url = [NSURL URLWithString:urlString];
    // NSDictionary *params = @{@"trim_user" : @"1"};

    SLRequest *request = [SLRequest requestForServiceType:SLServiceTypeTwitter
        requestMethod:SLRequestMethodPOST
        URL:url
        parameters:nil];

    [request setAccount:account];

    UIApplication *application = [UIApplication sharedApplication];
    application.networkActivityIndicatorVisible = YES;
}
```

# リツイート

- 詳細画面その2

```
[request performRequestWithHandler:^(NSData *responseData,
                                   NSHTTPURLResponse *urlResponse,
                                   NSError *error) {

    if (responseData) {
        NSInteger statusCode = urlResponse.statusCode;
        if (statusCode >= 200 && statusCode < 300) {
            NSDictionary *postResponseData =
                [NSJSONSerialization JSONObjectWithData:responseData
                                                    options:NSJSONReadingMutableContainers
                                                    error:NULL];
            NSLog(@"[SUCCESS!] Created Tweet with ID: %@", postResponseData[@"id_str"]);
        }
        else {
            NSLog(@"[ERROR] Server responded: status code %ld %@", statusCode,
                [NSHTTPURLResponse localizedStringForStatusCode:statusCode]);
        }
    }
    else {
        NSLog(@"[ERROR] An error occurred while posting: %@", [error localizedDescription]);
    }
    dispatch_async(dispatch_get_main_queue(), ^{
        UIApplication *application = [UIApplication sharedApplication];
        application.networkActivityIndicatorVisible = NO;
    });
}];
}
```



# 本文中のURLからWebViewへ

- ・ UITextViewのテキスト中のURLをクリック可能に
  - ★ リンク先を表示するViewControllerを用意  
(UIWebViewを持つWebViewControllerを新規作成)
  - ★ UIApplicationクラスのサブクラスを作成  
(MyUIApplicationを新規作成)
  - ★ openURLメソッドをオーバーライド

# AppDelegateの編集

- AppDelegateクラスでNavigationControllerを参照可能にする

- ★ AppDelegate.h

```
#import <UIKit/UIKit.h>

@interface AppDelegate : UIResponder <UIApplicationDelegate>

@property (strong, nonatomic) UIWindow *window;
@property (nonatomic, strong) UINavigationController *navigationController;

@end
```

- ★ AppDelegate.m

```
- (BOOL)application:(UIApplication *)application didFinishLaunchingWithOptions:(NSDictionary *)launchOptions
{
    // Override point for customization after application launch.

    self.navigationController = (UINavigationController *)self.window.rootViewController;
    return YES;
}
```

# WebViewController

- WebViewController.h

```
#import <UIKit/UIKit.h>

@interface WebViewController : UIViewController

@property (strong, nonatomic) IBOutlet UIWebView *webView;
@property (strong, nonatomic) IBOutlet UIActivityIndicatorView *activityIndicator;
@property (nonatomic, strong) NSURL *openURL;

@end
```

- WebViewController.m

```
- (void)viewDidLoad
{
    [super viewDidLoad];
    // Do any additional setup after loading the view.

    NSURLRequest *myRequest = [NSURLRequest requestWithURL:self.openURL];
    [self.webView loadRequest:myRequest];
}

- (void)webViewDidStartLoad:(UIWebView *)webView {
    [self.activityIndicator startAnimating];
}

- (void)webViewDidFinishLoad:(UIWebView*)webView {
    [self.activityIndicator stopAnimating];
}

- (void)webView:(UIWebView*)webView
didFailLoadWithError:(NSError*)error {
    [self.activityIndicator stopAnimating];
}
```

# MyUIApplication

- MyUIApplication.h

```
#import <UIKit/UIKit.h>
#import "AppDelegate.h"
#import "WebViewController.h"

@interface MyUIApplication : UIApplication

@property (nonatomic, strong) NSURL *myOpenURL;

@end
```

- MyUIApplication.m

```
- (BOOL)openURL:(NSURL *)url
{
    if (!url) {
        return NO;
    }

    self.myOpenURL = url;
    AppDelegate *appDelegate = (AppDelegate *)[self delegate];
    UIStoryboard *storyboard = [UIStoryboard storyboardWithName:@"MainStoryboard"
                                                                bundle:[NSBundle mainBundle]];

    WebViewController *webViewController =
        [storyboard instantiateViewControllerWithIdentifier:@"WebViewController"];
    webViewController.openURL = self.myOpenURL;
    webViewController.title = @"Web View";

    [appDelegate.navigationController pushViewController:webViewController animated:YES];
    self.myOpenURL = nil;

    return YES;
}
```

# main.mの編集

- ・ 今回はmain.mも編集
  - ★ UIApplicationMain関数の第3引数をカスタムクラスのクラス名にする

```
#import <UIKit/UIKit.h>

#import "AppDelegate.h"
#import "MyUIApplication.h"

int main(int argc, char *argv[])
{
    @autoreleasepool {
        return UIApplicationMain(argc, argv, NSStringFromClass([MyUIApplication class]),
                                NSStringFromClass([AppDelegate class]));
    }
}
```

# 参考：カスタムツイートシート

- ・ オリジナルのツイートシートのサンプル

## ★ TweetSheetViewController.h

```
#import <UIKit/UIKit.h>
#import <Social/Social.h>
#import <Accounts/Accounts.h>

@interface TweetSheetViewController : UIViewController

@property (strong, nonatomic) IBOutlet UITextView *tweetTextView;
@property (nonatomic, strong) ACAccountStore *accountStore;

- (IBAction)editEndAction:(id)sender;
- (IBAction)tweetAction:(id)sender;

@end
```



# カスタムツイートシート

## ★ TweetSheetViewController.m その1

```
- (IBAction)editEndAction:(id)sender {
    [self.tweetTextView resignFirstResponder];
}

- (IBAction)cancelAction:(id)sender {
    [self dismissViewControllerAnimated:YES completion:NULL];
}

- (IBAction)tweetAction:(id)sender {
    ACAccountStore *accountStore = [[ACAccountStore alloc] init];
    ACAccount *account = [accountStore accountWithIdentifier:self.identifier];
    NSString *tweetString = self.tweetTextView.text;

    NSURL *url = [NSURL URLWithString:@"https://api.twitter.com"
                                     @"/1.1/statuses/update.json"];
    NSDictionary *params = @{@"status" : tweetString};
    SLRequest *request = [SLRequest requestForServiceType:SLServiceTypeTwitter
                                     requestMethod:SLRequestMethodPOST
                                     URL:url
                                     parameters:params];

    //UIImage *image = [UIImage imageNamed:@"testIcon.png"];
    //NSData *imageData = UIImageJPEGRepresentation(image, 1.f);
    //NSData *imageData = UIImagePNGRepresentation(image);
    //[request addMultipartData:imageData
    //      withName:@"media[]"
    //      type:@"image/png"
    //      filename:@"testIcon.png"];
    request.account = account;
}
```

# カスタムツイートシート

## ★ TweetSheetViewController.m その2

```
UIApplication *application = [UIApplication sharedApplication];
application.networkActivityIndicatorVisible = YES;

[request performRequestWithHandler:^(NSData *responseData,
                                   NSHTTPURLResponse *urlResponse,
                                   NSError *error) {

    if (responseData) {
        self.httpErrorMessage = nil;
        if (urlResponse.statusCode >= 200 && urlResponse.statusCode < 300) {
            NSDictionary *postResponseData =
                [NSJSONSerialization JSONObjectWithData:responseData
                                                    options:NSJSONReadingMutableContainers
                                                    error:NULL];

            NSLog(@"[SUCCESS!] Created Tweet with ID: %@", postResponseData[@"id_str"]);
        }
        else {
            self.httpErrorMessage =
                [NSString stringWithFormat:@"The response status code is %ld",
                urlResponse.statusCode];
            NSLog(@"HTTP Error: %@", self.httpErrorMessage);
        }
    }
    dispatch_async(dispatch_get_main_queue(), ^{
        UIApplication *application = [UIApplication sharedApplication];
        application.networkActivityIndicatorVisible = NO;
        [self dismissViewControllerAnimated:YES completion:^(
            NSLog(@"Tweet Sheet has been dismissed.");
        )];
    });
});

});
}
```



## 6. ググり方を知る

- ・ ググり方で差がつく！
- ・ キーワードの選び方が重要
  - ★ ～とは
- ・ 検索時の条件指定
  - ★ 対象としないキーワード
  - ★ 期間指定

# 頼りになるサイト

- ・ Stack Overflow
- ・ Qiita
- ・ クラスメソッドのiOS7特集
- ・ Apple公式ドキュメント
- ・ iOS Dev Center (WWDC資料)

# ググり方演習

- ・ エラーメッセージで検索
  - ★ どれがエラーメッセージか
  - ★ 英語をいかに読むか
  - ★ 問いは自分と同じか
  - ★ どれが答えか
  - ★ どれくらいあてになるか

# 7. 作品を作りこむ

- ・ 完成度を上げるには
  - ★ 画面レイアウト
  - ★ 画像パーツ調整
  - ★ ユーザーインターフェース調整
  - ★ エラー対応

# 画面レイアウトの調整

- ・ 画面の向きに対応
  - ★ Portrait
  - ★ Landscape (Left、 Right)
  - ★ Upside Down

# 画像パーツの調整

- ・ キーカラー、背景色とのコントラスト
- ・ 画像ファイルの解像度、ファイル形式、圧縮
- ・ 機種ごとの画像の用意（iPad、Retina対応）

# ユーザインターフェースの調整

- ・ Apple公式ドキュメント  
「ヒューマンインターフェースガイドライン」
- ・ iOS7の目指すところ
- ・ UIは脇役
- ・ ユニバーサルデザイン
- ・ アクセシビリティの考え方

# エラー対応

- ・ どのエラーまで対応するか
- ・ ユーザのエラー操作を未然に防ぐ
- ・ 通信のエラー対応はしつこいくらいに
- ・ ユーザ向けのメッセージ
- ・ 開発者向けのメッセージ
- ・ ユーザからのフィードバックを受け取る  
(永遠のベータ版?)



# テストの取り組み

- ・ まずテストを書く
- ・ カバレッジより「できるところからやる」
- ・ 振り返りで頭を冷やして軌道修正

# 8.

# GitHub

- ・ バージョン管理
- ・ Gitコマンド基礎
- ・ GitHubにアカウント作成
- ・ GitHubでのバージョン管理
- ・ GitHubでの分散バージョン管理

# バージョン管理

- ・ ソースプログラムのライフサイクル
- ・ 終わりがなき更新
- ・ 過去に戻れるか
- ・ 本体 + 差分 + 管理情報

# Gitコマンド基礎

- ・ まずはローカルから
  - ★ じっくり取り組むならここ（宣伝）  
<http://engineer-intern.jp/archives/11957>
- ・ 3つの段階を理解
  - ★ ワーキングツリー
  - ★ インデックス
  - ★ リポジトリ

# ローカルでGitコマンド

- ・ `git config` で初期設定
- ・ `git init` でリポジトリ作成
  - ★ 取り消しは `rm -r .git`
- ・ `git status` で状態確認
- ・ ファイル作成（修正）でワーキングツリーへ
  - ★ 取り消しは  
`rm` ファイル名（作成時）または  
`git checkout --`ファイル名（修正時）

# ローカルでGitコマンド

- ・ `git add` でワーキングツリーからインデックスへ
  - ★ 取り消しは
    - `git rm -- cached` ファイル名 (作成時) または
    - `git reset HEAD` ファイル名 (修正時)
- ・ `git commit` でインデックスからリポジトリへ
  - ★ 取り消しは
    - `git reset -- soft HEAD^` (修正時のみ)

# 状態を見るGitコマンド

- ・ `git log` でオブジェクトIDと日付を確認
- ・ `git diff` で差分を確認
- ・ `gitk` で経過を確認

# GitHubにアカウント作成

- ・ ソーシャルコーディング
- ・ 無料のアカウントはソースが常にさらされる  
(かえって勉強になる)
- ・ 他の人のソースもじっくり見る
- ・ `git clone` でリポジトリごとコピー



# GitHubでのバージョン管理

- ・ リモートリポジトリ作成 (New repositoryボタン)
  - ★ じっくり取り組むならここ (宣伝)  
<http://engineer-intern.jp/archives/12305>
- ・ 公開されることを覚悟して名前をつける
- ・ 後々のことも考えて設定する
- ・ `git remote` でリモートリポジトリの設定
- ・ `git push` でリモートリポジトリにプッシュ

# GitHubで分散バージョン管理

- ・ もう一人になり切って分散開発の疑似体験
- ・ 2人目が `git clone` でリポジトリコピー
- ・ `git add`、`git commit` 後 `git push`
- ・ 1人目が `git pull` で2人目の修正取り込み
- ・ わざとコンフリクト発生
- ・ `git pull`、修正、`git push` でコンフリクト解消

# 9.

## 発表準備

- ・ 発表のために必要なこと
- ・ ライトニングトークについて
- ・ 振り返りの必要性

# 発表のために必要なこと

- ・ リハーサル
  - ★ なかなか重要性を理解できない
- ・ 機器チェック
  - ★ いざという時の逃げ道確保
- ・ 時間の管理
  - ★ 発表を邪魔せずに

# ライティングトークについて

- ・ 時間制限が厳しい
- ・ 多くの発表を聴く人への優しさ
  - ★ テンポの良さ
  - ★ ウケるプレゼン増加傾向
- ・ プレッシャーで発表者が成長
  - ★ 簡潔な箇条書きへシフト
  - ★ 「読ませる」より「見せる」
  - ★ スライド 1 枚当たりの情報と説明時間を減らす

# 振り返りの必要性

- ・ 発表直後にこそ最大の成長可能性
- ・ 冷静に見てくれている人の存在
- ・ 自分が客観的になれるかどうか